

コリウス チョコレートミント *Chocolate Mint, Coleus*

学名: *Solenostemon scutellarioides*
種子粒数の目安: グラムあたり約 900 粒

プラグ生産ステージ

ステージ 1 - 播種から幼根の発生まで
(4から 5 日)

- 地温の条件は 22-24°C が適正
- 培地はむらなく湿らせて、水分が過剰にならぬよう注意
- バーミキュライト等で軽く覆土する
- 幼根が発生する頃までは発芽に際して光は不要
- 土壌 pH は 5.5 から 5.8, EC 値は 0.75 mmhos/cm(2:1) 以下が適正な条件
- コリウスは高濃度の塩類、とくにアンモニアが高くなると障害が現れることがあるので、発芽期には注意が必要
- 培地のアンモニアのレベルを 10ppm 以下に抑える

ステージ 2 - 主軸の発生と子葉の展開まで
(約 10 日)

- 地温の条件は 22-24°C が適正
- 幼根が現れたら水分のレベルを下げます。培地がやや乾き始めたら水を与えるような、ドライの管理の方が発芽と根の生育には適している
- このステージでは、土壌 pH は 5.5 から 6.2, EC 値は 1.0 mmhos/cm(2:1) 以下が適正な条件
- 前と同様にアンモニアのレベルを 10ppm 以下に抑える
- 子葉が完全に展開したら、14-0-14(あるいはリン酸を含まない硝酸カリウム/カルシウム系)の肥料を 50-75ppm(N) の濃度で開始する
- この後、水と液肥を交互に与え、水やり 2, 3 回に肥料を 1 回くらいの間隔が適当
- 防疫の観点から、かん水はなるべく早い時間に行い、夕方まで葉に水滴が残らないように注意する

ステージ 3 - 本葉の発達と苗の生長
(2 から 3 週間)

- 地温の条件は 22-24°C が適正(少し落とす)
- 前と同様に、培地は乾かしぎみにドライの管理を取るがやはり苗を枯らさないように注意する。培地を乾かした方が、根が強くなり余計な新芽を抑えやすくなる
- 土壌 pH は 5.5 から 5.8, EC 値は 1.0mmhos/cm(2:1) 以下が適正な条件
- 施肥は、20-10-10 の肥料を 100-150ppm(N) の濃度まで上げる。同濃度で 14-0-14(あるいはリン酸を含まない硝酸カリウム/カルシウム系)の肥料の代用も可能
- 同様に水やり 2, 3 回に肥料を 1 回くらいの間隔が適当
- 生長制御には昼夜の温度差による DIF の使用を推奨。とくに、日の出後の 2 時間の温度の低い時間帯は丈の抑制に高い効果があると言われているので、しっかり換気をする
- 矮化剤を使用する場合は、コリウスでは A-レスト、B-ナイン、ボンザイで効果が確認されているが、使用規制に準拠し適正な使用方法をとる

ステージ 1 - 苗の移植ないし出荷直前期
(約 1 週間)

- 地温の条件は 16-17°C が適正(前より落とす)
- 前と同様、培地は乾かしぎみにドライの管理を続ける
- 土壌 pH は 5.5 から 5.8, EC 値は 0.75 mmhos/cm(2:1) 以下が適正な条件
- 必要に応じて、14-0-14(あるいは硝酸カリウム/カルシウム系)の肥料を 100-150ppm(N) の濃度で与える

鉢上げから出荷まで

温度

- 昼間: 21-24°C
- 夜間: 17-18°C

光条件(照度)

50,000 ルクス(5,000f.c.)を超すような場合は遮光が必要

培地(用土)

水はけがよく、ピート主体の新しい用土を使用。初期の養分値は中庸で、土壌 pH は 5.5 から 6.0 が適正

肥料

- かん水と交互に 15-0-15 の肥料を 150-200ppm(N) の濃度で与える
- 電気伝導度 EC 値は 1.0mmhos/cm(2:1) の中庸を維持
- コリウスはあまり肥料食いの植物ではないので、施肥の過剰は葉色の褪色や生育活力の減衰につながる

草丈の抑制

- 矮化剤をかん注で与える場合は、株が活着して根が鉢の内壁にまで達した頃を目安に行なう
- 他にも、とくにリン酸系やアンモニア態窒素を含む肥料を控えることで草丈を抑制することも可能
- コリウスは、ネガティブ(マイナス)DIF によく反応する植物なので、化学品依存が避けられる場合はその方法をとる
- コリウスへの矮化剤の使用では、A-レスト、B-ナイン、ボンザイで効果が確認されている

最終製品としての(出荷後の)管理

温度

- 昼間: 21-24°C
- 夜間: 17-18°C
- 店頭で陳列された後は植物の望ましい条件を維持することは現実になかなか容易ではない
- ネガティブ(マイナス)DIF を使って、温度の低い時間帯にしっかり換気を行い、株を徒長させないことが、品質を高く維持するための基本である

光条件(配置等)

- 部分的、あるいは完全に遮光されたスペースでの陳列が望ましい。直射日光の強い場所に置くと葉焼けを起こすことがあるので、とくに注意が必要
- また屋内のような、完全に光が入り込まない条件では徒長するので注意が必要

病例等

害虫: アブラムシ、コナガ、ホワイトフライ等

病気: ボトリティスや斑点病、パーテシリウム等の細菌感染が報告されています

その他の注意点: 日照量や光が弱いと、節間の伸びが顕著になるので注意が必要

チョコレートミントの平均的な生産期間

播種から移植まで (288 穴プラグトレイ)	ステージ 1: 4-5 日 ステージ 2: 10 日 ステージ 3: 14-21 日 ステージ 4: 7 日 合計 35-43 日(5-6 週)
移植から開花まで (9-10.5cm、12cm ポット または 15cm で 3 本定植)	概ね 8-10 週

注意: 同品種を生産する場合は、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてお使いください。生産物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります

注意点: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合があります。

PanAmerican SeedTM

PanAmSeed.com

PanAmerican Seed Co.
622 Town Road
West Chicago, Illinois USA 60185-2698
630 231-1400
Fax: 630 231-3609

PanAmerican Seed Europe BV
Lavendelweg 10
NL-1435 EW Rijsenhout, Holland
+31 (0)297-383038
Fax: +31 (0)297-383036